



市内を走るコミュニティバス

### 「コミュニティバスの役割を改めて検証せよ」

にし色のつばさ 半田 伸明 議員



**議員** 本市のコミュニティバスのあり方について、改めて議論を整理する必要がある。導入の経緯を伺う。

**都市整備部長** いわゆる交通不便地域を解消するため導入した経過がある。

**議員** 現在の運行状況をどう考えるか。成功か失敗か。

**都市整備部長** 成功でも失敗でもなく、絶えず改善が必要な施策だと考える。

**議員** 国による生活交通路線への補助制度について、今後の活用の方針を聞く。

**都市整備部長** 制度の活用のため、早期の条件整備や総合的な交通計画の作成に取り組んでいきたい。

**議員** 市民の移動手段確保への市の関わり方を検証すべきだ。コミュニティバス

し、慎重に判断していく。

**議員** 保育園の閉鎖は、ひとり親家庭には特に負担が大きい。ファミリー・サポート・センター等を活用し、支援事業を拡大せよ。

**健康福祉部調整担当部長** 今後検討していきたい。

**その他の質問** ごみ問題／労働安全衛生対策について

は収支の均衡を図ることが困難であり、営利的な側面ではなく、生活交通確保という公益的視点でとらえ直す必要がある。生活基盤としての公共交通の価値を再評価し、公益事業として戦略的に資金を投入することが求められる。見解を伺う。

**市長** 長寿社会を迎える中、市民の移動手段確保について、基礎自治体が担うべき役割はあると考える。総合的な交通計画を策定する中で、事業の公益性について十分協議していく。

**議員** 地域公共交通会議を充実させ、本市の公共交通をいかに発展させるかが課題だ。現在の路線の必要性を検証し、市内の交通体系の組み立てを事業者任せでなく、自治体が主導的に行う必要がある。公共交通の利用を促す側面と組み立てていく側面を重視し、三鷹市独自の公共交通のあり方を考えるべきだ。

**都市整備部長** 公共交通のあり方を検討すべき時期であり、地域公共交通会議で論点整理を始めている。

### 認知症サポーターを積極的にPRせよ

政新クラブ 渥美 典尚 議員



**議員** 高齢社会を迎え、だれもが認知症の方と接する機会が増えてくる。認知症についての知識や心構えを学ぶ認知症サポーター養成講座は大変有効であり、より広く普及させるべきだ。この講座は、厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンの一環である「認知症サポーター100万人キャラバン」事業における取り組みだ。市は認知症サポーターの仕組みをどのように評価・活用しようと考えているのか。

**市長** 地域ケアネットワークづくりの一環として、認知症サポーター養成講座を実施してきた。受講したサポーターが身近な地域で認知症の方の見守り支援を行うことを期待している。

**議員** 本市における認知症サポーター養成講座の開催回数、認知症サポーターの人数を伺う。他の自治体との積極活用について

比較してどう考えるか。

**市長** 平成20年2月から平成20年度末までに9回、今年度は現時点で2回開催した。講座を受講し、認知症サポーターになった人は374人である。先行実施した近隣市は、本市より人数が多い。今後、養成を一層進めたい。

**議員** 認知症サポーター養成講座の開催回数を増やすため、他団体へ講座開催を促す工夫がさらに必要だ。様々な講演会や勉強会等、人の参集が見込める場での開催を要請してはどうか。直接の打診のほか、広報やホームページで目立つ形のPRも必要だ。対応を伺う。

**市長** 町会・自治会、住民協議会、福祉事業所等に呼びかけてきた。引き続き地域で活動している様々な団体へPRをしていきたい。

**その他の質問** 「三鷹市暫定管理地(多摩青果跡地)の積極活用」について

### 緑の保全や創出によるヒートアイランド対策を

政新クラブ 加藤 浩司 議員



**議員** 緑と水の公園都市を掲げる三鷹市にとって、緑の保全・創出によるヒートアイランド現象の緩和対策は大きな課題だ。既存の緑は大きな課題だ。既存の緑の保全、都市農業の安定化を図るとともに、建築物の屋上緑化、公園や校庭の芝生化に取り組みなど、総合

的な対策を効果的に推進することが必要だ。既存の建築物の屋上緑化も技術的には難しいものではないと考え、公共施設の屋上緑化の取り組みについて伺う。

**市長** 三鷹市緑化基準に基づき、公共施設の新築・建て替え等に当たり、建築物

の屋上緑化などを行っている。施設の構造や利用形態を勘案しながら、屋上緑化などを推進していきたい。

**議員** 本市では三鷹市環境配慮指針に基づき、景観・緑化・エネルギー対策など開発事業の計画段階における環境配慮基準を定めている。今後、建築物が環境に影響を与えることの周知徹底を図るとともに、その影響を軽減させるための施策



三鷹市公会堂別館の「屋上庭園」

### 新たな魅力を創造し発信し続けるまちを

政新クラブ 土屋 健一 議員



**議員** 高環境・高福祉のまちを目指し、先駆的な施策に取り組み本市の魅力について、基本的認識を問う。

**市長** 豊かな自然、歴史、文化、産業など多様な魅力に満ちたまちだと考える。

**議員** ホームページ以外では、どのような方法で三鷹の魅力を発信しているか。

**市長** 雑誌「東京人」で、太宰治を特集した。また、新聞やテレビを通じた情報発信にも力を入れている。

**議員** 電子看板をJR三鷹駅等に設置し、イベント等の情報を流してはどうか。

**都市整備部長** 検討したが、断念した経過がある。

が求められる。環境配慮のまちづくりについて伺う。

**市長** 三鷹市は市民及び事業者と協働で持続的発展が可能な循環型社会の実現を目指してきた。今後も開発の理念を積極的にPRする

とともに、緑化基準、建設資材の再利用など環境配慮基準を遵守してもらい、ともにヒートアイランド現象の緩和に努めていきたい。

**議員** 市内の小中学校では第一小学校をはじめとして校庭の芝生化がスタートした。校庭の芝生化推進による緑の創出について伺う。

**教育長** 平成20年度から都の補助金を活用して校庭の芝生化に取り組んでいる。今後も環境教育の推進と並行する緑化に努めたい。

**第一副市長** ②内部で検討していきたい。

**議員** 都立井の頭恩賜公園の井の頭池周辺は、大半が三鷹市の区域内にある。積極的にアピールすべきだ。第一副市長 機会あるごとにアピールしていきたい。

### 新型インフルエンザ 行動計画を早期に策定せよ

政新クラブ 伊東 光則 議員



**議員** メキシコ等での感染者急増を受け、WHO(世界保健機関)は4月30日に新型インフルエンザの警戒水準をフェーズ5と発表した。本市は5月18日に対策本部を設置したが、その役割と設置時期についてどのような判断があったのか。

**市長** 市民の健康と安全を守り、混乱を生じさせず、感染拡大を防ぐ対策を検討することを本部の役割と位置づけ、全庁的に迅速な対応が必要と判断し設置した。

**議員** 5月22日に三鷹市民の感染が確認されたが、市民からの問い合わせ等に混乱なく対応できたのか。

**市長** 今回の発症例での感染が弱毒性であることや地域性等を考慮して柔軟な対応を図る方針に改定した。

**議員** 市内の各医療機関との連携とともに実際の事態を想定した訓練が必要だ。

**市長** 医療関係者と市職員が防護服を着用するなどして訓練に参加している。

### 子どもの笑顔があふれるまちづくりを

政新クラブ 伊藤 俊明 議員



**議員** 三鷹子ども憲章の普及・啓発には小中学校や保